

当社は、品質マネジメントシステム(QMS)および工業標準化法に基づき、全社一丸となって、ステークホルダーの皆様から信頼される製品を確実に提供するため、品質管理活動を推進しています。

品質管理

当社は、日本鉄鋼連盟の「鉄鋼業における品質保証体制強化に向けたガイドライン」および日本鉱業協会の「非鉄スラグ製品の製造・販売ガイドライン」に従った品質管理体制を構築しています。製品の品質規格を満たすとともに、お客様の要望に応え、かつ環境汚染のない安全で質の高い製品を常に提供できるように品質管理活動を行っています。

主な取り組み	具体的な活動実績
顧客満足度向上に向けた方策	フェロニッケル製品については、お客様が要望する製品品質に対するばらつきが少なく、かつ、取り扱いやすい形状の製品の提供、並びに希望納期への確実な対応を行うことにより、お客様から高い評価をいただいています。顧客満足度調査や日々のお客様とのコミュニケーションによって問題点や改善点を見出し、顧客満足度を少しでも高めるべく対応しています。スラグ製品(フェロニッケルスラグ製品、溶融スラグ製品)は、製品の安全性確保のために、土壌汚染対策法に基づく溶出量試験、含有量試験の定期的な実施により無害であることを確認しています。また、お客様とのコミュニケーションにより要求される品質(粒度・化学成分)の実現についても、高い評価をいただいています。さらに、フェロニッケルスラグ製品は、販売先で生活環境保全上の支障をきたすことがないように、日本鉱業協会「非鉄スラグ製品の製造・販売管理ガイドライン」に則り、生産から販売後の現地確認に至るまで厳格に管理しています。
社内品質管理能力のレベルアップへの支援	2018年度は「品質に関係する不適正事例」と、2017年度から継続している「QC手法教育」について2回ずつ社内教育を実施しました。不適正事例については、その発生原因や結果、対応などについて解説し、「長年築き上げた信用も、一瞬にして失くしてしまう」リスクがあることを教育しました。2019年度も教育内容を改善し、分かり易い教育を目標に継続して実施していきます。
製品品質の信頼性向上のための分析技術のブラッシュアップ	製品品質の信頼性を確保するために必要な分析・試験において、ベテラン社員からの技術伝承が課題となっています。手順書には記載できない、ベテラン社員の感覚的な技術やノウハウなどの暗黙知を聞き出し、スキル表として図や写真などを交え文書化する活動を行いました。そのスキル表をもとにOJTを行うことで、確実に技術伝承の成果を上げています。 スキル表を用いた技術伝承 
試験所・校正機関の認定規格 ISO/IEC 17025の試験所認定	フェロニッケル製品やニッケル鉱石の価格は、ニッケル品位で決定されるため、ニッケル分析値の信頼性確保が重要となります。そのため、当社では「フェロニッケル中の成分の化学分析方法」、「フェロニッケル中の成分の蛍光X線分析方法」、「ニッケル鉱石中のニッケルの化学分析方法」について、ISO/IEC 17025の認定を受けています。これにより、当社製品は検査や原料の受入検査結果の国際的・客観的な信頼性の確保に寄与しています。2019年度は、ISO/IEC 17025(2017年版)への移行審査を計画しています。

当社は、1998年にISO9001を認証登録し、維持しています。2015年度からは、統合マネジメントシステムとしてEMS、OHSASと併せて運用しています。2018年度は、10月に定期審査を受審しました。その結果、大きな問題点はなく、ISO9001に基づく品質マネジメントシステムが適切に維持されていることが確認されました。当社のQMS活動では、原料調達安定化とコス

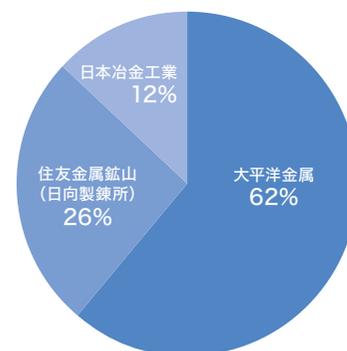
トダウンが喫緊の課題であるため、各部署で関連した目標を推進しています。調達部では、「IMS 目標管理進捗状況兼実施報告書」において、フィリピン、ニューカレドニアなど5カ所の新規調達先の開拓等の目標を掲げて活動を行っており、外部要因が複雑さを増すなかで、さまざまな工夫を行った取り組みを実施していることを評価していただきました。

株主・投資家の皆様に適正でわかりやすい情報開示に努めています。ホームページを活用した各種IR情報の公表を中心に、説明会の開催を行っています。

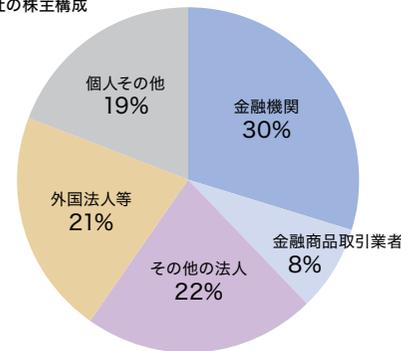
IR活動

当社は、IR担当取締役を中心にIR委員会を設置し、全ての株主・投資家の皆様と建設的な対話を促進するための体制を整備しています。定時株主総会を毎年6月に開催するとともに、第2四半期決算の際にも決算説明会を実施し、当事業の業績や計画、戦略などを説明しています。また、企業体質の充実・強化を図りつつ、利益配当金によって株主の皆様への利益還元にも努めています。

■当社の業績(日本のフェロニッケル生産における当社の割合)



■当社の株主構成



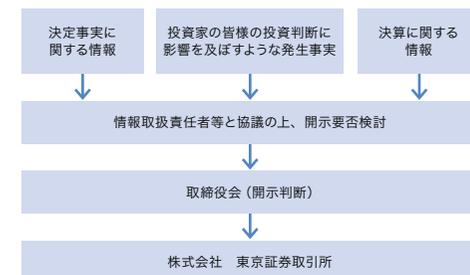
株主・投資家の皆様との対話

IRに関するアナリスト・機関投資家向けの説明会を年2回定期的に行っています。株主の皆様からのご意見は、取締役会議長を中心に取り締り全体に確実に共有されるよう努めています。また、株主の皆様との対話を行う際は、インサイダー情報の管理を適切に行うとともに、株主間での情報格差を生じさせないよう十分留意しています。

情報開示

「コーポレートガバナンスに関する基本方針」に定める情報開示方針に基づき、各種情報について当社ホームページを中心に適時適切に開示しています。当社は、決定事実に関する情報、投資家の皆様の投資判断に影響を及ぼすような発生事実、決算に関する情報に関し、開示体制を構築しています。重要な事実が発生した場合は社内関係部署で開示の可否を検討し、取締役会での開示判断を行い、開示する場合は、東京証券取引所に開示する体制をとっています。

■情報開示の体制



株主総会に関しては、株主の皆様が議案の内容を十分に精査し、権利を適切に行使することができるよう、株主総会招集通知の早期発送を行っています。さらに、当該招集通知の発送日前に証券取引所や当社ホームページでの開示を行っています。

IRに関する資料についてはこちら URL:<https://www.pacific-metals.co.jp/ir/index.html>



地域社会とのつながりを大切に、清掃活動を実施するとともに、地域の諸団体への協賛や地域イベントへの参加など地域活性化に努めています。地域に密着した取り組みを通じて、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図っています。

工場見学会の開催

当社では、地域の皆さまに事業活動への理解を深めていただくため、工場見学会を行っています。2019年3月9日には「八戸工場大学」の受講生を対象とした八戸製造所の工場見学会を開催しました。

八戸工場大学は八戸市が主催しており、地域の工場の魅力や価値を再発見し、発信していく市民活動です。当社は2015年度より講師の派遣や工場景観を活用したアートイベントの実施など、継続して協力しています。

今回の工場見学会には、受講生の地域住民28名が参加し、ロータリーキルン・電気炉・フェロニッケルスラグ出滓などを実際に見ることで、当社について理解を深めていただく機会となりました。

参加された方は、フェロニッケルの製造工程や排水処理



工場見学会参加者との集合写真

工場周辺や地域の清掃活動

当社は、地域環境美化および社会貢献を目的に工場周辺臨港道路沿いの清掃活動を継続的に行っています。2018年7月に実施した清掃活動では、当社正門前駐車場の清掃を行いました。また、2018年10月には、当社社員と関係会社および協力会社の従業員合わせて約40名が4つのブロックに分かれて清掃活動を行いました。

施設に興味を持たれていました。特に、汚濁物質を取り除いた後の水については「工場で使った水をきれいにしてから放流しているのを初めて知った」「ピーカーに注がれた排水処理した水が透明で驚いた」といった感想をいただきました。

2018年度は他にも、7月30日に公益財団法人 八戸地域高度技術振興センター主催の「学生・生徒のものづくり企業訪問ツアー」や、10月18日に八戸市民を対象とした八戸市環境部環境政策課主催の「エコツアー」に協力し地域住民向けの見学会を開催しました。

今後も、地域の皆さまに当社について知っていただく機会を作っていきます。



海洋放流口のサンプル水

ニッケル4社 環境・安全交流会の開催

当社は、他の国内ニッケル企業3社とともに、環境・安全に関わる問題点について情報共有を行うことを目的に、「環境・安全交流会」を2009年に発足させました。

2018年度は、株式会社日向製錬所にて「ニッケルの発じん対策」、「重機の安全対策」、「協力会社の管理体制」の3つのテーマを中心に議論しました。この交流会は、各社の取り組みについて情報共有ができることから非常に有意義なコミュニケーションの場となっています。

当社は、「ご安全に!」を合言葉に自主的な労働災害防止活動を展開し、安全意識向上により労働災害の防止に努めています。また、従業員が安全で健康に過ごせる職場環境を維持できるよう健康管理活動を推進しています。

労働安全活動

2018年度は、「無事故・無災害の必達」を全社目標に掲げ、労働安全衛生対策の強化を図ることを重点テーマとして、危険体感教育やOJT教育の見直し、安全ルールの再点検、連絡体制の構築、安全技能競技会の開催等に取り組みました。

危険体感教育では、ベルトコンベアへの「挟まれ・巻き込まれ」を体感できる設備を製作し、参加者が危険な場面を疑似体験する教育を行うなど、各職場においてトラブル発生に備えたOJT教育を行っています。また、安全技能競技会では、「フォークリフト」、「クレーン・玉掛け」の種目で競技を実施し、作業車両の危険性と安全確認の重要性を再認識しました。自分たちの職場から事故・災害を発生させないという意識を高め、引き続き事故・災害の防止に努めていきます。



ベルトコンベアへの「挟まれ・巻き込まれ」危険体感教育

衛生活動

社員の健康増進を目的として、7月にロコモティブシンドローム予防についての運動教室を実施しました。9月には昨年度に引き続き、社内駅伝大会を開催しました。大会前には、フィットネスクラブより講師を招いて「駅伝大会に向けた走り方講座」を開催し、大会に参加する方はもちろん、日頃からランニングに励んでいる方々が参加し、走り方のフォームや練習前後のストレッチについて学びました。

また、八戸製造所内にはジムと浴場があり、従業員は誰でも利用することができます。仕事の後に体を動かしたり汗を流したりすることでリフレッシュできるよう社員の健康促進に配慮しています。



八戸製造所内のジムと浴場

防災活動

2018年度は、総合防災訓練、夜間・休日訓練、津波避難訓練を全社で実施しました。総合防災訓練では、八戸地区共同防災センターの協力の下、大規模地震発生により構内で火災が発生したという想定で、当社自衛消防隊と連携した消火訓練および負傷者の救出・救助訓練を行いました。

また、工場内における防災マップを改訂し、全従業員に配布しました。防災マップは、有事の際の初動対応や消防・警察への情報提供等について記載されており、見てすぐに行動できるように作成されています。



自衛消防隊による放水訓練

働きがいのある職場環境づくり

社員一人ひとりが仕事にやりがいを感じられるよう2018年度から新しい人事制度を導入しました。評価者との対話を進め、透明性があり公平な評価を行い、評価を行った結果をフィードバックすることによりモチベーションを上げて働けることを重要視しています。また、定時退社を基本とし、勤怠情報をシステム管理することで生産性の向上にも取り組んでいます。全社員が持っている能力を最大限に発揮し、働きがいのある職場環境を目指していきます。